

# 令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 高校教育指導課  
 担当名: 特色化推進担当  
 内線: 6772

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
P21	ICTを活用した遠隔教育導入・展開実証事業		一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	教育課程推進費	
事業期間	令和 6年度～ 令和 8年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		針路	05 未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4
					分野施策	0501 確かな学力と自立する力の育成	SDGsターゲット	4-1, 4-6, 4-7
1 事業概要	特定教科の教員免許を持つ教員がいない・科目の専門性がないなど教員の確保が困難な科目や、個々の生徒の習熟度に応じた学びに対する遠隔授業を導入し、生徒の多様な科目選択の実現と生徒の多様な学びの機会の充実等を図る。  ICTを活用した遠隔教育導入・展開実証事業 予算の節減及び入札差金による減額 △4,487千円		5 事業説明 (1) 事業内容 ICTを活用した遠隔教育導入・展開実証事業 16,354千円 → 11,867千円  (2) 事業計画 ア 遠隔授業配信センター及び受信校の環境整備等 イ 教員の確保が困難な一部の科目において、当該教科の免許を持った教員がいない学校や、当該科目の専門性がない教員がいる学校に対して、配信センターから遠隔授業を実施し、その効果を検証する。 ウ 幅広い学力層の生徒が通学する学校における生徒個々の習熟度に応じた学びについて、配信センターから遠隔授業を実施し、その効果を検証する。  (3) 事業効果 ア オンラインに適した授業環境が整備される。 イ 教員の確保が困難な一部の科目の授業が受講可能になり、生徒の多様な科目選択が実現する。 ウ 生徒個々の習熟度に応じた学びが提供され、より適切かつ充実した授業が展開できる。  【活動指標(アウトプット)】 ・実証校における遠隔授業の実施 【成果指標(アウトカム)】 ・受信校における生徒の選択可能な科目数の維持 ・授業満足度や学習意欲が向上した生徒の割合増加  (4) 補正予算の概要 予算の節減及び入札差金による減額					
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)							
3 地方財政措置の状況	なし							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×1人=9,500千円							
予算額		財 源 内 訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△4,487						△4,487	11,867
現計額	16,354						16,354	

## 事業内訳書

事業名	ICTを活用した遠隔教育導入・展開実証事業		
単位事業名	ICTを活用した遠隔教育導入・展開実証事業	予算額	△ 4,487千円

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△4,487	—	
合計	△4,487	—	

### ○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△210	—	節約による報償費の減
旅費	△215	—	節約による旅費の減
需用費	△269	—	節約による消耗品費の減
使用料及び賃借料	△118	—	節約による使用料の減
備品購入費	△3,675	—	入札差金による備品費の減
合計	△4,487	—	